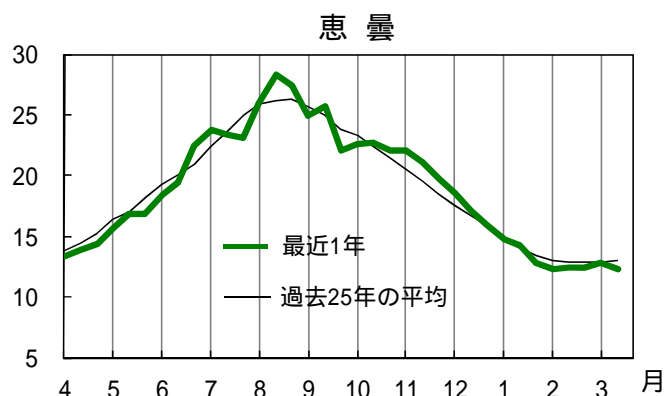
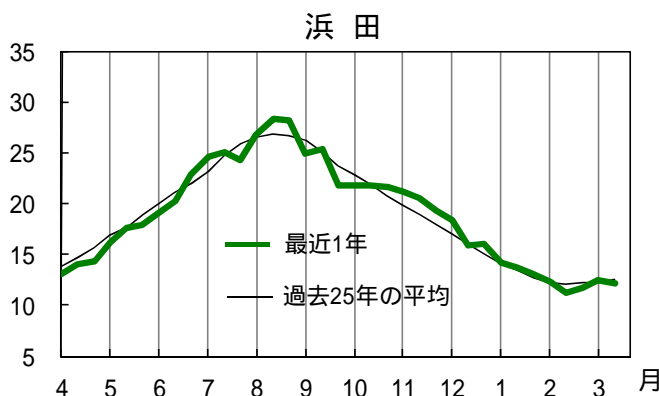




(2～3月の海況)

2月	月平均	平年差	評価
浜田	11.7	-0.5	やや低め
恵曇	12.4	-0.5	やや低め

沿岸定地水温は、浜田地区では、2月は上半は「平年並み」、中旬～下旬は「かなり低め～やや低め」、3月上旬は「平年並み」でした。恵曇地区は2月上旬～中旬は「やや低め」、2月下旬～3月上旬は「平年並み」でした。3月中旬時点で両地区とも低め傾向で経過しています。



(2月の漁況)

【中型まき網漁業】

県西部（浜田地区）ではマアジ、サバ類主体の漁況で、1統1航海あたりの漁獲量は平年を上回りました。県東部（西郷地区及び浦郷地区）ではマアジ、サバ類に加えてカタクチイワシ主体の漁況でした。サバ類・カタクチイワシの漁獲量は平年並みでしたが、マアジは平年の2.9倍と好調であったため、1統1航海あたりの漁獲量は平年を上回りました。マアジは1歳魚（2011年生まれ）が漁獲の主体でした。

【イカ釣漁業】

浜田地区（属地5トン以上）ではスルメイカ主体（全体のほぼ100%）の漁況で、1隻1航海あたりの漁獲量は1,246kgで平年並みでした。一方、西郷地区（属人5トン以上）では漁獲がありませんでした。

【沖合底びき網漁業】

浜田港ではマフグ、スルメイカ、キダイ主体の漁況でした。1統1航海当たり漁獲量は11.8トンで、平年の9割の水揚げに止まりました。この時期、量がまとまるマフグですが、今期は低調で前漁期の1/2の水揚げとなりました。また、主要カレイ類のムシガレイ、ソウハチ、ヤナギムシガレイも低調であり、平年の7～8割の水揚げに止まりました。一方、キダイは秋以降好調に推移しており、平年の2.1倍の水揚げがありました。

【小型底びき網漁業】

和江、久手両地区ともソウハチ、アカガレイ主体の漁況でした。1隻1航海あたりの漁獲量は、久手は平年並み、和江は平年をやや下回りました。アカガレイは両地区ともまとまり、平年の2～3.3倍の水揚げとなりました。また、ソウハチ、ヒレグロは平年並み～やや上回りました。一方、ムシガレイ、アンコウ、キダイは平年の4～6割の水揚げに止まり、低調に推移しました。

【定置網漁業】

石見地区では、マアジ、マダイ、ブリ主体の漁況で、1統あたりの漁獲量の平年比はマダイが1.7倍と好調でしたが、その他の魚種は軒並み不振で、全統の総漁獲量は平年の2割弱に止まりました。出雲地区ではマアジ、サバ類、スルメイカ主体の漁況で、1統あたりの漁獲量の平年比はマアジが1.7倍でしたが、この時期漁獲の主体となるスルメイカ、ブリ、ヤリイカなどが不振であったため、全統の総漁獲量は平年の3割程度となりました。隠岐地区ではスルメイカ、マアジ主体の漁況で、1統あたりの漁獲量の平年比は、マアジが2倍と好調であったものの、スルメイカが2割程度であったため、全統の総漁獲量は平年の4割に止まりました。

【釣・縄】

石見地区ではメダイ、サワラ類、ブリが主に漁獲され、1隻1航海あたりの総漁獲量は31kgで平年並みでした。出雲地区ではブリが主に漁獲され、1隻1航海あたりの総漁獲量は49kgで平年並みでした。隠岐地区ではカサゴ・メバル類、メダイ、ヤリイカが主に漁獲され、1隻1航海あたりの総漁獲量は21kgで平年を下回りました。

【平成 24 年 2 月の漁獲統計】

漁業種類	水揚港	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1 隻(統)1 航海あたり漁獲量)			漁模様
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %	
まき網 (中型・大 中型)	浜田	マアジ、サバ類	197 トン	63%	67%	28.2 トン	171%	146%	
	西郷	マアジ、サバ類、カタクチイワシ	3,850 トン	124%	155%	64.2 トン	163%	154%	
	浦郷	マアジ、サバ類、カタクチイワシ	2,080 トン	140%	159%	59.4 トン	228%	197%	
イカ釣り (5 トン以上)	浜田	スルメイカ	122 トン	57%	63%	1,246 kg	97%	101%	
	西郷	漁獲なし	-	-	-	-	-	-	-
沖合 底びき網	浜田	マフゲ、スルメイカ、キダイ	260 トン	84%	70%	11.8 トン	92%	87%	
小型 底びき網	久手	アカガレイ、ソウハチ	131 トン	80%	79%	729 kg	113%	103%	
	和江	ソウハチ、アカガレイ	218 トン	70%	84%	750 kg	89%	93%	
定置網 (大型)	浜田	操業なし	-	-	-	-	-	-	-
	美保関	マアジ、スルメイカ	30 トン	13%	28%	1360 kg	14%	29%	
	浦郷	スルメイカ、マアジ	18 トン	35%	49%	739 kg	37%	53%	
釣り・縄	仁摩	メダイ、サワラ類	12 トン	43%	60%	44 kg	52%	76%	
	大社	ブリ	27 トン	59%	74%	47 kg	52%	65%	
	西郷	カサゴ・メバル類、メダイ	3 トン	27%	33%	24 kg	47%	56%	

平年比：過去 5 年（沖底のみ 10 年）の平均値との比較 漁模様（CPUE）： が平年以上、 が平年並み、 が平年以下

本年の漁獲量が 0Kg(ほぼ 0Kg)のものは全てを -、前年の漁獲量が 0Kg(ほぼ 0Kg)のものは前年比を -、平年の漁獲量が 0Kg(ほぼ 0Kg)のものは平年比を - とした